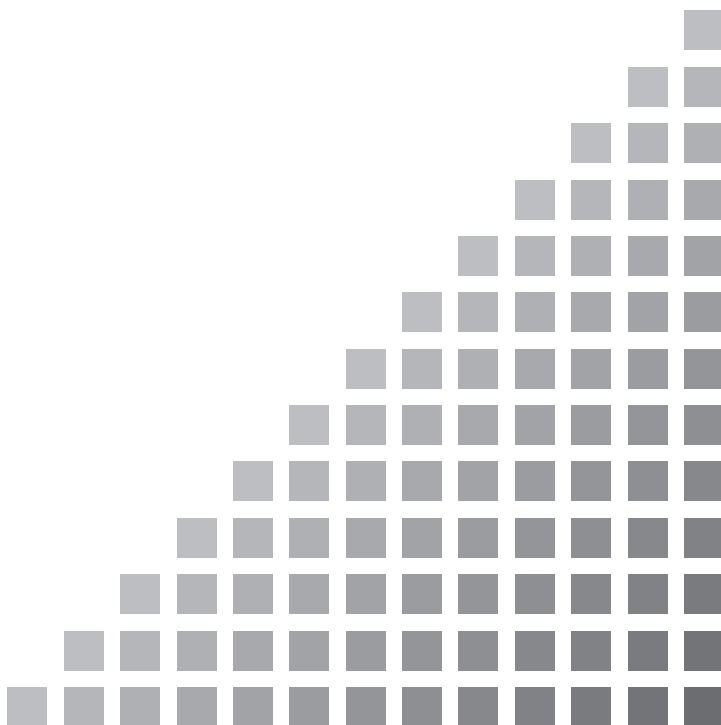




取扱説明書

UV-22Viewer

UV-22



安全にお使いいただくために

この説明書の中では、事故防止上必要と思われる部分に、下記のような表示をして注意を喚起しています。本器および周辺の設備などの損害を防止するために必要な事柄です。

| △ 注 意 |
|-------|
| ● |

ここに書かれた注意を無視すると、人身あるいは周囲の設備に障害・損害を招く可能性があります。

| 重 要 |
|-----|
| ● |

ここに書かれた注意を無視すると、本器が故障する可能性があります。



| ノ ー ト |
|-------|
| ● |

安全には直接影響しませんが、本器の機能を正しく活用するためのアドバイスを記載しています。

⚠ 注 意

音楽用 CD プレーヤで再生しないでください。

本ソフトウェアの CD-ROM は、音楽用 CD ではありません。音楽用の CD プレーヤで再生すると過大音が発生することがあり、音楽用 CD プレーヤの故障のみならず、聴力に悪影響を及ぼす恐れがあります。

重 要

Microsoft Windows operating system については説明していません

この説明書では、Microsoft Windows operating system については説明していません。コマンドの選択やダイアログボックスの設定などについては Microsoft Windows operating system の説明書やオンラインヘルプなどを参照してください。

説明に用いているコンピュータの表示画面は、一般的な表示例です。使用する Microsoft Windows operating system やコンピュータの使用環境によって表示が異なる場合があります。

※ 本書中の会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。

ソフトウェア使用許諾契約書

重 要

本ソフトウェアは、「ソフトウェア使用許諾書」を承諾していただくことがご使用の条件となっています。あらかじめ内容をご確認の上、同意していただける場合のみご使用ください。

第1条 (使用許諾)

本ソフトウェアは、インタフェースユニット UV-22 (以下、「本製品」といいます。) のソフトウェア (バージョンアップ版及びカスタマイズ版も含みます) であり、お客様は、この契約の内容に従うことを条件に、本製品でのみ本ソフトウェアを使用することができます。

第2条 (権利の帰属)

本ソフトウェアに関する全ての権利は、リオン株式会社 (以下、「当社」といいます。) 及び／又はその権利者に帰属します。お客様による本ソフトウェアの使用に関して、お客様にはこの契約中で許諾される以外は何らの権利も発生しません。

第3条 (使用・譲渡の制限)

1. お客様は、本ソフトウェア及び付属するドキュメントを複製することはできません。
2. お客様は、本ソフトウェアの変更又は改造を行うことはできません。
3. お客様は、本ソフトウェアについて、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、解析等を行うことはできません。
4. お客様は、当社の事前の書面による承諾なしに、本ソフトウェアを、有償・無償を問わず第三者に貸与することはできません。
5. お客様は、当社からこの契約内で許諾された権利を、第三者に譲渡することはできません。

第4条 (保証の範囲)

1. お客様は、本ソフトウェアがいかなる状況においても不具合を生じることなく動作継続できるものではないことをあらかじめご了承ください。お客様の通常の使用において、本ソフトウェアに不具合が生じた場合は、取扱説明書に記載のお問い合わせ先・方法により、お問い合わせください。お問い合わせの内容に関し、知り得る限りの範囲内で内容の誤りや使用方法の改良など、必要な情報をお知らせ致します。
2. 本ソフトウェアの不具合により本製品中に保存されたデータが変化・消失した場合でも、当社（以下、本条において、当社の関連会社及びあるいは子会社を含む）は責任を負いません。
3. 当社は、お客様が本ソフトウェアを使用することあるいは使用できないことから生じる偶発的あるいは間接的な損害、又は受けられるべき救済の損失、得べかりし利益の損失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。
4. お客様の変更又は改造により、本ソフトウェアに何らかの欠陥が生じたとしても、当社は保証致しません。また、変更又は改造の結果、万一お客様に損害を生じたとしても、当社は責任を負いません。

第5条 (契約の終了)

1. お客様は、いかなる時でも本ソフトウェア並びに付属するドキュメントを廃棄することによって、この契約を終了させることができます。
2. お客様がこの契約の内容に違反した場合、当社はこの契約を解除し、お客様における本ソフトウェアの使用を終了させることができます。その場合、お客様は本ソフトウェア（すべての違反コピーを含みます）並びに付属するドキュメントを廃棄しなければなりません。

第6条 (その他)

本ソフトウェア及び本製品を海外に持ち出す場合には、お客様は日本国外国為替及び外国貿易法、米国輸出管理法及びその他の国の法令を遵守しなければなりません。またこの契約は、日本法を準拠法とするものとします。

第7条 (第三者受益者)

本ソフトウェアには、当社以外の受諾者が権利を有するソフトウェアが含まれています。お客様が本契約に違反した場合、当社に加え、当該許諾者が直接お客様へ損害賠償を請求する権利があります。

目 次

| | |
|---------------------|-----|
| 安全にお使いいただくために | i |
| ソフトウェア使用許諾契約書 | iii |
| 概 要 | 1 |
| 準 備 | 2 |
| インストール | 3 |
| 接 続 | 8 |
| USB 接続の場合 | 8 |
| LAN 接続の場合 | 9 |
| アプリケーションの起動 | 11 |
| 起動画面 | 11 |
| Timeout 設定画面 | 14 |
| LAN 設定画面 | 15 |
| 瞬時値表示・設定画面 | 17 |
| まとめて設定について | 28 |

概 要

UV-22Viewer Software は、インタフェースユニット UV-22 に付属された UV-22 専用のソフトウェアであり、CD-ROM 1 枚で構成されています。UV-22 に連結された騒音計ユニット UN-14、振動計ユニット UV-15 の設定制御や測定値の表示などを行うことができます。通信方式は、USB もしくは ETHERNET の 2 種類が選択可能です。

<主な機能>

連結された UN-14 の設定制御、瞬時値の表示 (1 秒周期)

連結された UV-15 の設定制御、瞬時値の表示 (1 秒周期)

連結された UN-14、UV-15 へのユーザフィルタ入力

動作制限：本ソフトウェアは UV-22 1 台に対して制御可能です。

本ソフトウェアは合計 16 台までの UN-14、UV-15 を制御できます。

注意事項

- UV-22 に連結する UN-14、UV-15 は、あらかじめ識別番号を設定しておいてください。
識別番号は、通信において個々の機体を識別する番号であり、別々の番号を設定してください。同一の番号を設定すると、動作異常になります。
- 通信時の電源は、AC アダプタ NC-99 をご使用ください。

動作環境

OS： Microsoft Windows 7 Professional (32 bit 版 /64 bit 版)

Microsoft Windows 8.1 Pro (32 bit 版 /64 bit 版)

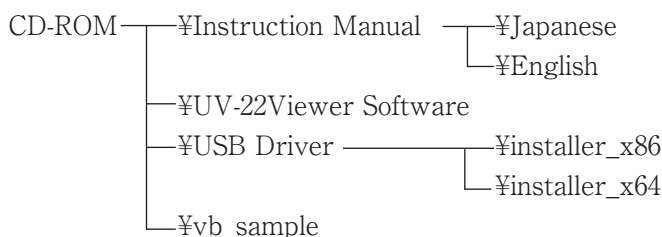
CPU： Intel (R) Celeron (TM) processor 800 MHz 以上

メモリ：256 MB 以上

準 備

CD-ROM をコンピュータにセットし、各フォルダ、各ファイルをコンピュータのハードディスクにコピーしておくことをお勧めします。

CD-ROMのフォルダ構成



Instruction Manual フォルダ

UV-22 取扱説明書と UV-22Viewer 取扱説明書が格納されています。

UV-22Viewer Software フォルダ

アプリケーションソフト UV-22Viewer が格納されています。

USB Driver フォルダ

USB ドライバが格納されています。

installer_x86 : 32 bit 版 Microsoft Windows 7 Professional/8.1 Pro 用

installer_x64 : 64 bit 版 Microsoft Windows 7 Professional[※]/8.1 Pro 用

※ 64 bit 版 Windows 7 には、Microsoft Windows (KB3033929) のセキュリティ更新プログラムが適用されていること。

適用の有無は、コンピュータの[コントロールパネル] - [プログラムと機能] - [インストールされた更新プログラム]から確認できます。

vb_sample フォルダ

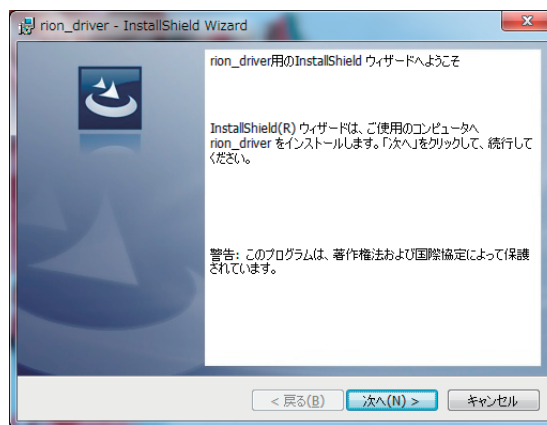
DOD コマンドで UV-22 からデータを取り込むサンプルソフトを格納しています。Visual Basic で作成されています。

インストール

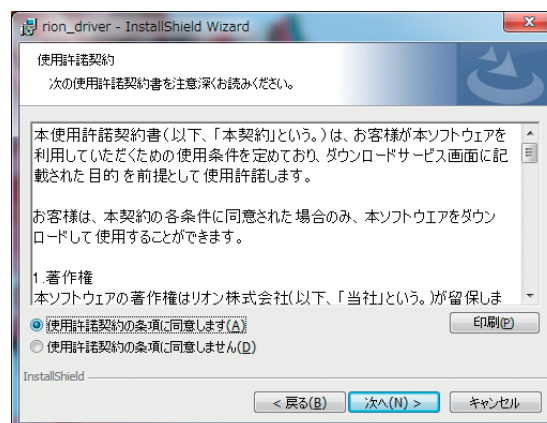
USB ドライバをコンピュータにインストールします。

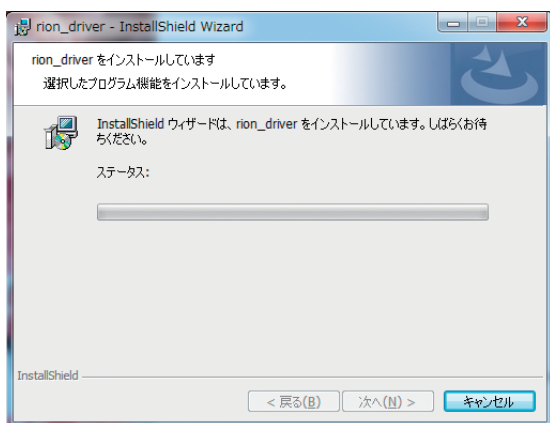
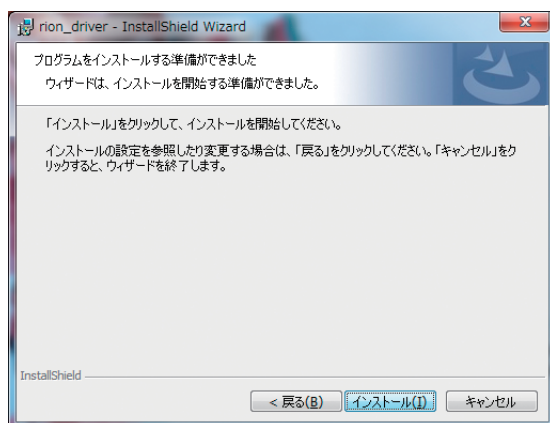
1. コンピュータを起動します。あらかじめ、他のソフトウェアは閉じてください。

32 bit 版 OS をご使用の場合は“installer_x86”フォルダ、64 bit 版 OS をご使用の場合は“installer_x64”フォルダ内にある、“setup.exe”を実行してください。インストーラが起動します。

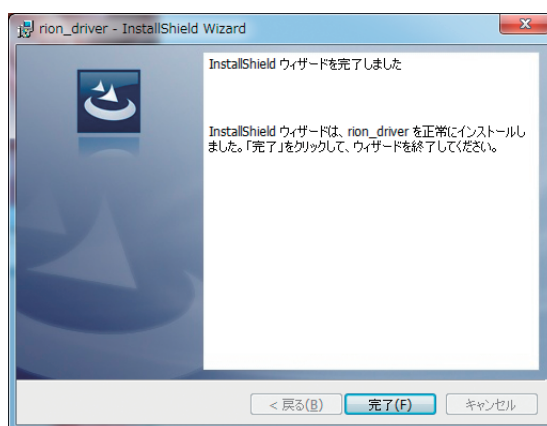
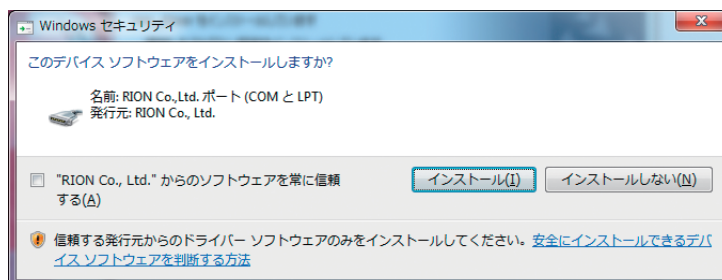


ウィザードに従って、インストールを完成させてください。
インストール中の画面は下記のとおりです。

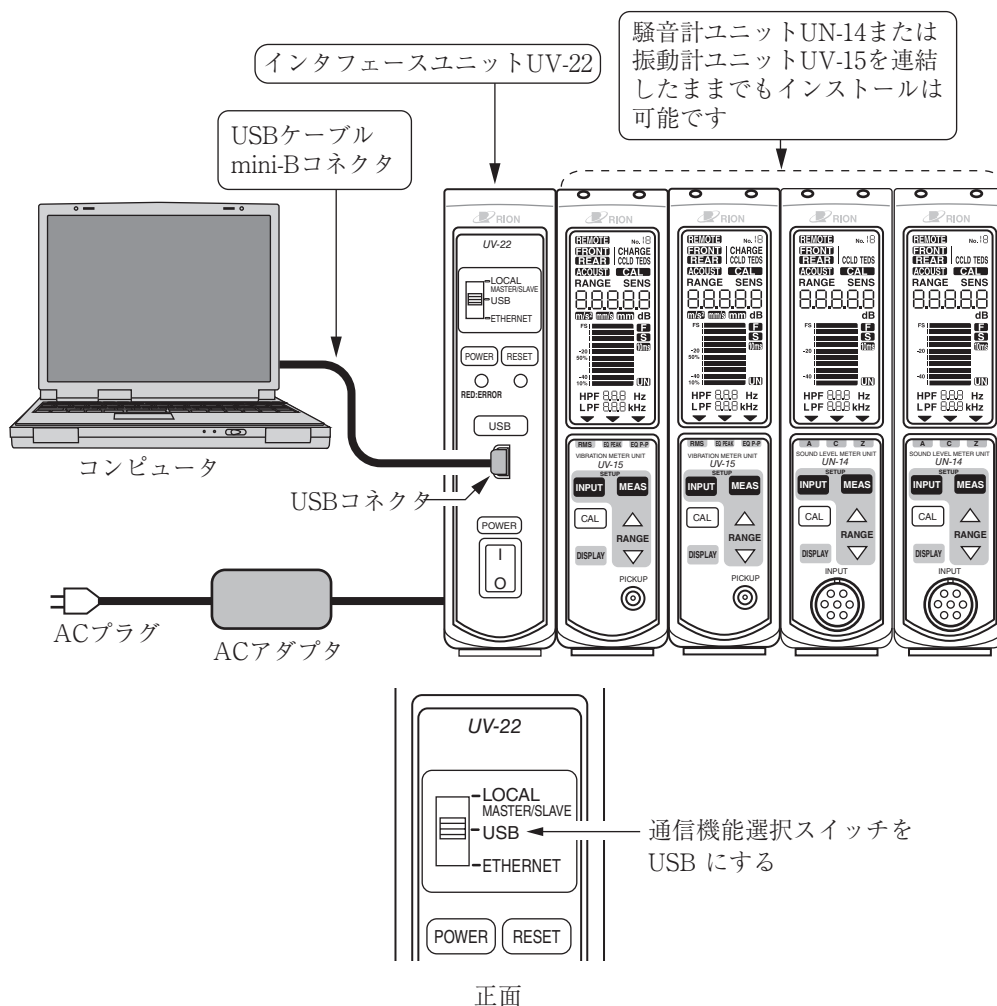




お使いの環境により、「Windows セキュリティ」が表示されることがあります。[インストール]または[続行]をクリックしてください。



- UV-22 (電源 OFF の状態) を用意し、フロントパネル上の通信機能選択スイッチを USB にセットします。
- UV-22 本体に USB ケーブルを取り付け、コンピュータと接続し、UV-22 の電源を入れます。



※ UN-14、UV-15 を連結した状態でも USB ドライバのインストールは可能です。

コンピュータがUV-22を認識すると、自動的にデバイスドライバーソフトウェアのインストールを開始します。インストールが完了すると、USB通信が可能になります。



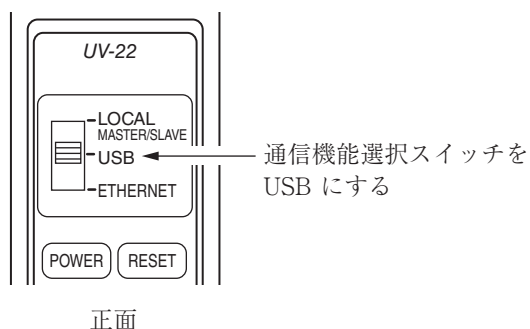
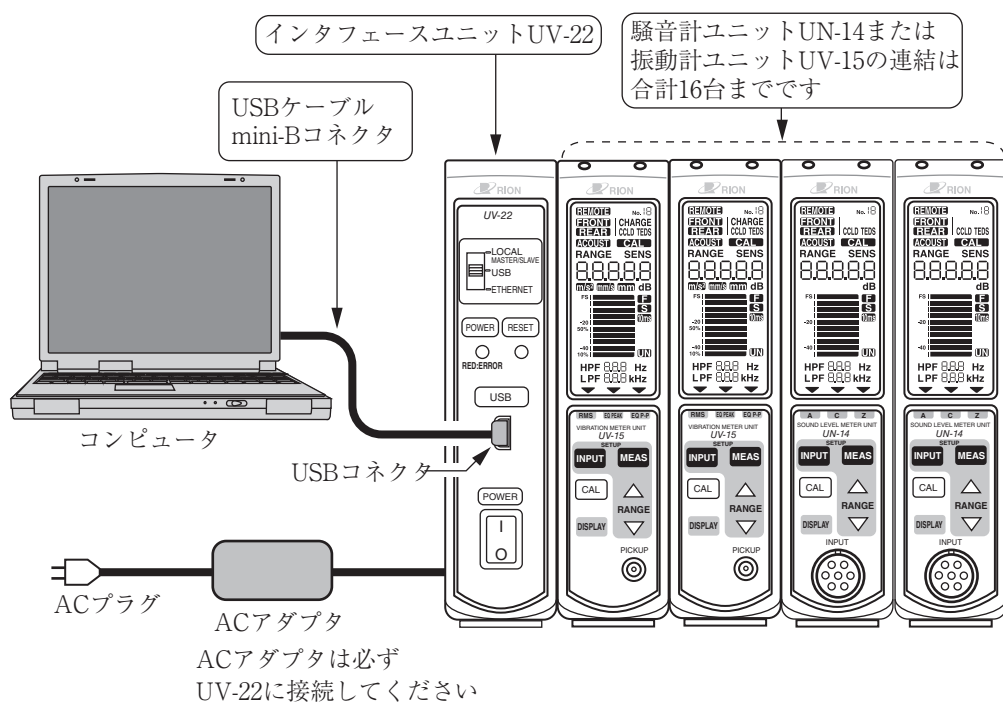
接 続

ご使用になる通信方式に応じて、接続を行ってください。

USB 接続の場合

UV-22 使用時は、AC アダプタを UV-22 に接続してください。

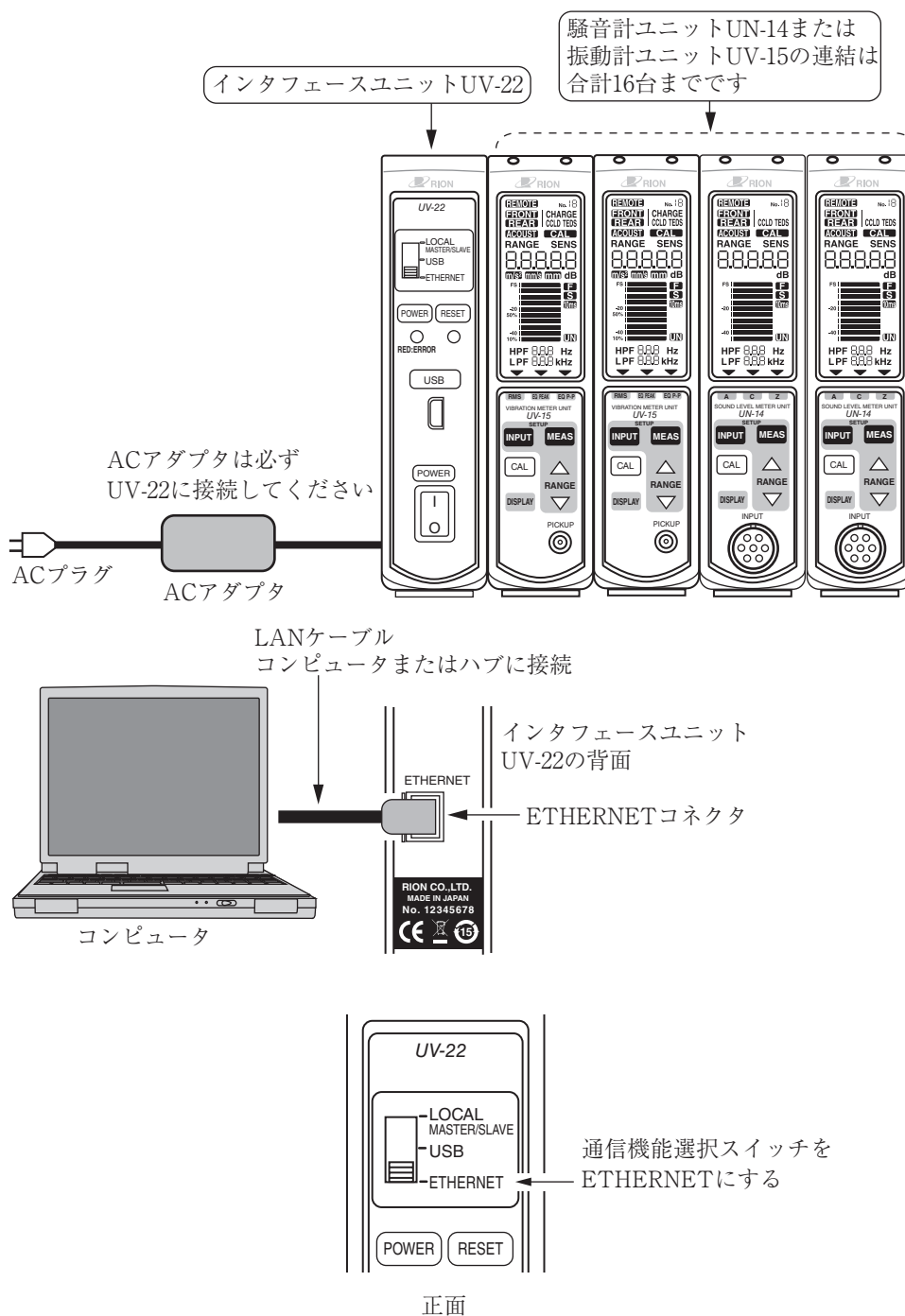
なお、バッテリーユニット BP-17 接続時は、AC アダプタは BP-17 に接続し、UV-22 の電源スイッチは常に ON にしておいてください。



LAN 接続の場合

UV-22 使用時は、AC アダプタを、UV-22 に接続してください。

なお、バッテリーユニット BP-17 接続時は、AC アダプタは BP-17 に接続し、UV-22 の電源スイッチは常に ON にしておいてください。



| |
|------------|
| 重 要 |
|------------|

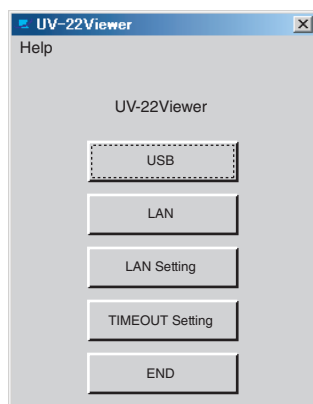
| |
|---|
| AC アダプタは別売の NC-97 または NC-99 を使用してください。指定以外の AC アダプタは機器の故障の原因となる場合があります。 |
|---|

アプリケーションの起動

UV22Viewer.exe のアイコンを選択し、ダブルクリックしてください。

起動画面

[UV22Viewer.exe] を実行してアプリケーションを起動すると、起動画面が表示されます。



起動画面

起動画面では下記のボタンがあります。

- USB ボタン

USB 通信を使用して UV-22 と接続し、入力設定画面を表示します。

- LAN ボタン

LAN 通信を使用して UV-22 と接続し、入力設定画面を表示します。

なお、初めて LAN 通信を行う場合は、あらかじめ LAN Setting で LAN の設定を行っておく必要があります。

- LAN Setting ボタン

USB 通信を使用して UV-22 と接続し、LAN 設定画面を表示します。

- TIMEOUT Setting ボタン

UV-22 との通信のタイムアウト時間設定を行います。

- END ボタン

アプリケーションを終了します。

| ノート |
|---|
| 通信エラーが発生する場合は、各種設定、ケーブルおよび接続を再確認してコンピュータおよび UV-22 を再起動してください。 |

起動画面では下記のメニューを表示します。

- Help メニュー

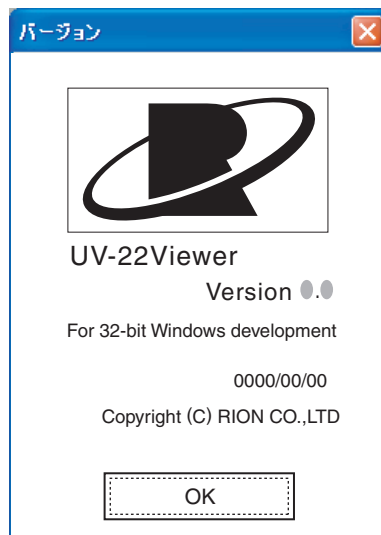
Help メニューには下記のサブメニューがあります。

Version サブメニュー：バージョン表示画面を表示します。

起動画面、もしくは入力設定画面のメニュー [Help>Version...]を選択すると、バージョン表示画面を表示します。

バージョン表示画面ではアプリケーションに関する情報を表示します。

バージョン表示画面では下記のボタンを表示します。



バージョン表示画面

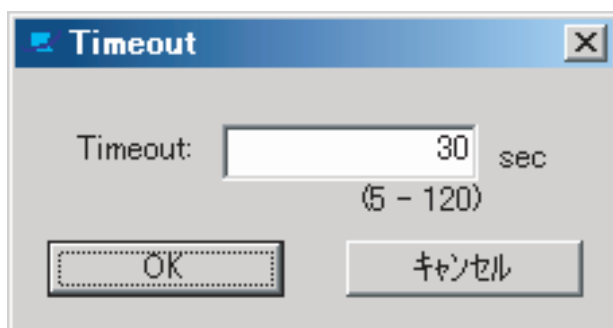
- OK ボタン

バージョン表示画面を閉じます。

Timeout 設定画面

起動画面から TIMEOUT Setting ボタンをクリックすると、Timeout 設定画面を表示します。

Timeout 設定画面では UV-22 との通信のタイムアウト時間設定を行います。



Timeout 設定画面

Timeout 設定画面で設定できる項目は下記の通りです。

- Timeout

UV-22 との通信タイムアウト時間を設定します。5 秒～120 秒までを 1 秒刻みで設定できます。

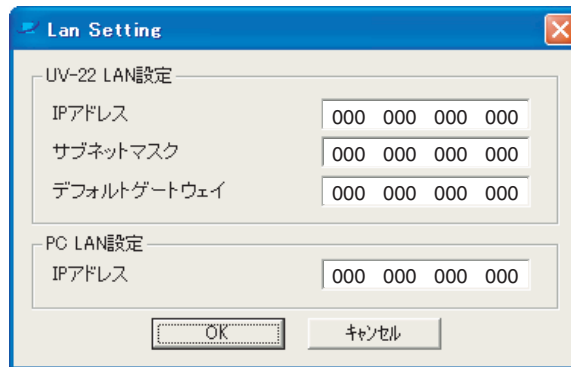
| ノート |
|--|
| LAN で使用の場合、情報量や通信状態などの影響を受けやすいので 30 sec 以上に設定してください。 |

LAN 設定画面

起動画面から LAN Setting ボタンをクリックすると、USB を用いて UV-22 と通信します。

通信が正常に行われると Lan Setting 画面を表示します。

Lan Setting 画面では UV-22 本体の LAN 設定と PC 側の LAN 設定を行います。



LanSetting 画面

Lan Setting 画面で設定できる項目は下記の通りです。

- UV-22 LAN 設定

UV-22 LAN 設定では UV-22 本体の下記の項目が設定可能です。各設定は UV-22 本体に記憶されます。

- IP アドレス
UV-22 の IP アドレスを設定します。
- サブネットマスク
UV-22 のサブネットマスクを設定します。
- デフォルトゲートウェイ
UV-22 のデフォルトゲートウェイを設定します。

- PC LAN 設定

PC LAN 設定では下記の項目が設定可能です。設定されたアドレスはコンピュータに記憶されます。

- IP アドレス
コンピュータが LAN 接続する際の接続先の UV-22 の IP アドレスを設定します。
(UV-22LAN 設定の IP アドレスと同じアドレスを設定します)

LAN 設定画面では下記のボタンを表示します。

- OK ボタン

UV-22 LAN 設定を変更して OK ボタンをクリックすると、UV-22 へ LAN 設定を変更するコマンドを通知します。

PC LAN 設定を変更して OK ボタンをクリックすると、LAN で通信する際の接続先を更新します。

- キャンセルボタン

LAN 設定画面で変更した内容を無効にして LAN 設定画面を閉じます。

| 重 要 |
|--|
| 社内ネットワークに接続される場合などは、ネットワーク管理者から IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを確認して設定してください。 |

| 重 要 |
|-----------------------------------|
| LAN の場合、通信速度は情報量や通信状態などにより左右されます。 |

| 重 要 |
|---|
| UV-22Viewer 使用時に、UV-15/UN-14 の各操作キーの動作が使用可能になっております。 |
| 例えば、Viewer (コンピュータ) で制御中に、キー操作で設定変更があると、コンピュータ上で設定されている UV-15/UN-14 設定条件と、実際の設定条件が変わってしまう恐れがあります。 |

瞬時値表示・設定画面

起動画面で USB ボタンをクリックもしくは LAN ボタンをクリックし、UV-22 へ正常に通信接続できた場合は下図の瞬時値表示・設定画面を表示します。

瞬時値表示・設定画面では瞬時値の表示と各項目の設定を行います。

| INPUT SETTING | | MEASURE SETTING | | USER FILTER | |
|---------------|-----------|-----------------------|--------------|-------------|--|
| | | INPUT | Sensitivity | | |
| No.1 | 83.5 dB | No.1 REAR CCOLD | -58.8 dB/pa | | |
| No.2 | 1.63 m/s² | No.2 FRONT CCOLD TEDS | 80.8 mV/m/s² | | |
| No.3 | --- | No.3 | --- | | |
| No.4 | --- | No.4 | --- | | |
| No.5 | --- | No.5 | --- | | |
| No.6 | --- | No.6 | --- | | |
| No.7 | --- | No.7 | --- | | |
| No.8 | --- | No.8 | --- | | |
| No.9 | 108.7 dB | No.9 FRONT | -17.2 dB/pa | | |
| No.10 | 2.84 mm | No.10 REAR | 6.04 mV/m/s² | | |
| No.11 | --- | No.11 | --- | | |
| No.12 | --- | No.12 | --- | | |
| No.13 | 103.4 dB | No.13 FRONT | -40.7 dB/pa | | |
| No.14 | 73.8 m/s² | No.14 FRONT CHARGE | 1.00 pC/m/s² | | |
| No.15 | --- | No.15 | --- | | |
| No.16 | --- | No.16 | --- | | |

CAL ON SEND CANCEL

瞬時値表示・設定画面

瞬時値表示・設定画面では下記のボタンを表示します。

- CAL ON/CAL OFF ボタン

CAL ON/CAL OFF ボタンをクリックすると UV-22 を経由して、連結された UN-14、UV-15 に対して CAL の ON/OFF を通知します。

ボタンの Caption が「CAL ON」の状態をクリックすると、CAL を ON にします。

ボタンの Caption が「CAL OFF」の状態をクリックすると、CAL を OFF にします。

設定変更があった場合、このボタンは操作できません。

- SEND ボタン

設定変更した内容を送信する際にクリックします。

設定の変更があった場合にこのボタンが有効になります。

- CANCEL ボタン

設定変更した内容をキャンセルする場合にクリックします。


瞬時値表示・設定画面では下記のメニューを表示します。

- Help メニュー

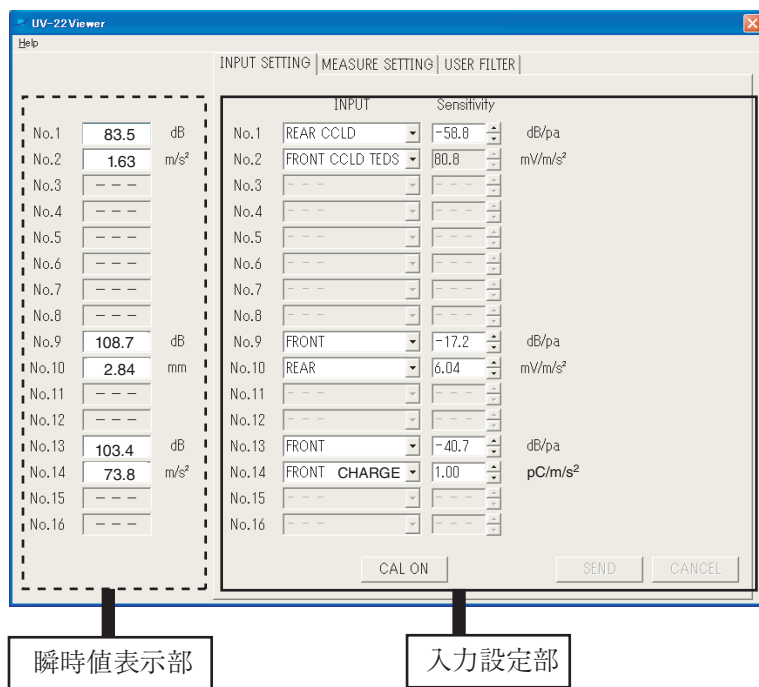
Help メニューには下記のサブメニューがあります。

- Version サブメニュー

バージョン表示画面を表示します。

瞬時値表示・設定画面を終了する場合はウィンドウタイトル横の  ボタンをクリックしてください。

瞬時値表示・設定画面は[瞬時値表示部]と[入力設定部]に分かれています。



瞬時値表示部・入力設定部の区分

瞬時値表示部表示内容

UV-22 に連結している機器の瞬時値を 1 秒毎に表示します。
最大 16 台までの表示が可能です。

| | | |
|-------|-------|------------------|
| No.1 | 83.5 | dB |
| No.2 | 1.63 | |
| No.3 | --- | m/s ² |
| No.4 | --- | |
| No.5 | --- | |
| No.6 | --- | |
| No.7 | --- | dB |
| No.8 | --- | |
| No.9 | 108.7 | |
| No.10 | 2.84 | |
| No.11 | --- | mm |
| No.12 | --- | |
| No.13 | 103.4 | dB |
| No.14 | 73.8 | |
| No.15 | --- | m/s ² |
| No.16 | --- | |

識別番号
瞬時値表示
単位

瞬時値表示部（詳細）

ノート

通信状態により 1 秒ごとに表示できない場合があります。

No. の数字は UV-22 に連結している各機器の識別番号です。

瞬時値表示には UV-22 に連結している機器（UN-14、UV-15）の瞬時値を表示します。状態によって背景色が変わります。

- 通常： 背景色は白です。
- OVER 中： 背景色は赤です。

対応する識別番号が未接続の場合、瞬時値表示は「---」となります。

単位には瞬時値の単位を表示します。対応する識別番号の機器によって下記の表示となります。

- 機器が未接続の場合：

単位は表示せず空白となります。

- UN-14 の場合：

単位は「dB」を表示します。

- UV-15 の場合：

単位は設定に応じて「 m/s^2 」、「 mm/s 」、「 mm 」を表示します。

設定部表示内容

UV-22 に連結している機器の入力設定・測定設定・ユーザフィルタ入力に関する設定を行います。

設定部はタグによって[入力設定部]、[測定設定部]、[ユーザフィルタ入力部]に分かれています。

設定部の切り替えはタグを選択することで行います。

- 入力設定部を表示する場合は[INPUT SETTING]のタグをクリックします。
- 測定設定部を表示する場合は[MEASURE SETTING]のタグをクリックします。
- ユーザフィルタ入力部を表示する場合は [USER FILTER] のタグをクリックします。

なお、各設定部が変更中の場合は、タグの切り替えはできません。

タグ

INPUT SETTING | MEASURE SETTING | USER FILTER

| | INPUT | Sensitivity | |
|------|-----------------|-------------|---------------------|
| No.1 | REAR CCLD | -58.8 | dB/pa |
| No.2 | FRONT CCLD TEDS | 80.8 | mV/m/s ² |
| No.3 | --- | --- | |
| No.4 | --- | --- | |
| No.5 | --- | --- | |
| No.6 | --- | --- | |
| No.7 | --- | --- | |
| No.8 | --- | --- | |
| No.9 | FRONT | -17.2 | dB/pa |

入力設定部

入力設定部

[INPUT SETTING] のタグをクリックすると、入力設定部を表示します。入力設定部では入力に関する設定を行います。

INPUT SETTING のタグ

INPUT SETTING | MEASURE SETTING | USER FILTER

| | INPUT | Sensitivity | |
|-------|-----------------|-------------|---------------------|
| No.1 | REAR CCLD | -58.8 | dB/pa |
| No.2 | FRONT CCLD TEDS | 80.8 | mV/m/s ² |
| No.3 | --- | --- | |
| No.4 | --- | --- | |
| No.5 | --- | --- | |
| No.6 | --- | --- | |
| No.7 | --- | --- | |
| No.8 | --- | --- | |
| No.9 | FRONT | -17.2 | dB/pa |
| No.10 | REAR | 6.04 | mV/m/s ² |
| No.11 | --- | --- | |
| No.12 | --- | --- | |
| No.13 | FRONT | -40.7 | dB/pa |
| No.14 | FRONT CHARGE | 1.00 | pC/m/s ² |
| No.15 | --- | --- | |
| No.16 | --- | --- | |

CAL ON SEND CANCEL

識別番号 入力端子設定 Sensitivity (感度) 設定

入力設定部

識別番号の数字は、UV-22 に連結している各機器の識別番号を示します。

入力端子設定は UV-22 に連結された UN-14、UV-15 各機器の入力端子の選択をします。

対応する識別番号に機器が未接続の場合、入力端子設定部の表示は[---]となります。

対応する識別番号に機器が接続されている場合で、取得した INPUT 値が規定と異なる場合は単位が空白になります。

選択した INPUT 値が下記の場合は TEDS 通信モードとなります。

- 接続機器が UN-14 で[REAR CCLD TEDS]を選択した場合
- 接続機器が UV-15 で[FRONT CCLD TEDS]を選択した場合

INPUT 値を TEDS 通信モードに変更すると、Sensitivity 値が編集不可となり空白となります (Sensitivity 値が確定していないため)。その後 SEND ボタンをクリックすると TEDS 通信を開始します。TEDS 通信が完了すると感度値を取得して Sensitivity に表示します。

TEDS 通信で失敗した場合は [TEDS 通信で失敗しました] のメッセージとともに失敗した機器 No. も表示します。

TEDS センサを使用して感度を任意に設定したい場合には、

- UN-14 は[REAR CCLD]
- UV-15 は[FRONT CCLD]
にします。

Sensitivity (感度)設定は UN-14、UV-15 各機器の感度を設定、表示します。

対応する識別番号に機器が未接続の場合、Sensitivity (感度)値表示は「—」となり、変更できません。単位も空白となります。

入力端子設定が TEDS 通信モードとなっている場合は、感度値の変更はできません。

測定設定部

[MEASURE SETTING] のタグをクリックすると、測定設定部を表示します。

測定設定部では、

- UN-14：レンジ、周波数重み特性、時間重み特性、HPF、LPF
- UV-15：レンジ、測定モード(加速度 / 速度 / 変位)、指示特性、HPF、LPF

の設定、表示を行います。

MEASURE SETTINGのタグ

| | INPUT SETTING | MEASURE SETTING | USER FILTER |
|-------|---------------|-----------------|-----------------------|
| | | RANGE | FREQ.WEIGHT. /UNIT |
| No.1 | | 110 | A |
| No.2 | | 30 | m/s ² |
| No.3 | | | |
| No.4 | | | |
| No.5 | | | |
| No.6 | | | |
| No.7 | | | |
| No.8 | | | |
| No.9 | | 110 | Z |
| No.10 | | 3 | mm/s |
| No.11 | | | |
| No.12 | | | |
| No.13 | | 110 | C |
| No.14 | | 100 | mm/s |
| No.15 | | | |
| No.16 | | | |

| | TIME.WEIGHT. /DETECTION | HPF | LPF |
|--|----------------------------|------|--------|
| | F | --- | 20Hz |
| | EQ P-P | --- | 500Hz |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | S | 25Hz | --- |
| | EQ PEAK | 10Hz | 10kHz |
| | | | |
| | | | |
| | S | 20Hz | 20Hz |
| | EQ P-P | 50Hz | 1.5kHz |
| | | | |
| | | | |

CAL N SEN CANCEL

識別番号 周波数重み特性 / 測定モード設定 HPF設定 RANGE設定 時間重み特性 / 指示特性設定 LPF設定

測定設定部

識別番号の数字は UV-22 に連結している各機器の識別番号です。

RANGE 設定では UV-22 に連結した UN-14、UV-15 のレンジを設定、表示します。対応する識別番号に機器が未接続の場合、RANGE 値表示は「—」となり、変更できません。

接続機器によって設定範囲は異なります。

- UN-14 の場合

Sensitivity 値によって設定値を決定します。

- UV-15 の場合

Sensitivity 値と測定モード値によって設定値を決定します。

周波数重み特性 / 測定モード設定の選択を変更すると設定値が更新されるため RANGE 値が空白になります。再度 RANGE 値を設定してください。

周波数重み特性 / 測定モード設定では接続機器によって設定する内容が異なります。

- UN-14 の場合

UV-22 に接続している UN-14 の周波数重み特性 (A、C、Z) を設定します。

- UV-15 の場合

UV-22 に接続している UV-15 の測定モード (m/s^2 、 mm/s 、 mm) を設定します。

測定モード設定の選択を変更すると設定値が更新されるため RANGE 値が空白になります。再度 RANGE 値を設定してください。

対応する識別番号に機器が未接続の場合、周波数重み特性 / 測定モード設定値表示は「—」となり、変更できません。

時間重み特性 / 指示特性設定では接続機器によって設定する内容が異なります。

- UN-14 の場合

UV-22 に接続している UN-14 の時間重み特性 (F、S、10 ms) を設定します。

- UV-15 の場合

UV-22 に接続している UV-15 の指示特性 (RMS、EQPEAK、EQP-P) を設定します。

対応する識別番号に機器が未接続の場合、時間重み特性 / 指示特性設定値表示は「—」となり、変更できません。

HPF 設定では UV-22 に接続している機器の HPF 値を設定します。対応する識別番号に機器が未接続の場合、HPF 設定値表示は「—」となり、変更できません。

ユーザフィルタが入力されている場合は選択肢の一番下に追加されます。

LPF 設定では UV-22 に接続している機器の LPF 値を設定します。対応する識別番号に機器が未接続の場合、LPF 設定値表示は「—」となり、変更できません。

ユーザフィルタが入力されている場合は選択肢の一番下に追加されます。

ユーザフィルタ入力部

[USERFILTER]のタグをクリックすると、ユーザフィルタ入力部を表示します。

ユーザフィルタ入力部ではユーザフィルタに関する入力を行います。

USER FILTERのタグ

| | HPF | LPF |
|-------|------|------|
| No.1 | --- | --- |
| No.2 | --- | --- |
| No.3 | --- | --- |
| No.4 | --- | --- |
| No.5 | --- | --- |
| No.6 | --- | --- |
| No.7 | --- | --- |
| No.8 | --- | --- |
| No.9 | 63Hz | 8kHz |
| No.10 | --- | --- |
| No.11 | --- | --- |
| No.12 | --- | --- |
| No.13 | 63Hz | --- |
| No.14 | --- | --- |
| No.15 | --- | --- |
| No.16 | --- | --- |

識別番号 HPF入力 LPF入力

CAL SEND CANCEL

ユーザフィルタ入力部

No. の数字は UV-22 に連結している機器の識別番号です。

HPF 入力では UV-22 に連結している機器のユーザフィルタ HPF 値を入力します。対応する識別番号に機器が未接続の場合、HPF 設定値は変更できません。

LPF 入力では UV-22 に連結している機器のユーザフィルタ LPF 値を入力します。対応する識別番号に機器が未接続の場合、LPF 設定値は変更できません。

重 要

ここで入力したユーザフィルタの設定を有効にするには、MEASURE SETTING タグの HPF または LPF 設定で入力したユーザフィルタを選択して設定する必要があります。

まとめて設定について

設定部の項目を変更する際 [Shift] キーを押しながら変更すると、設定値をまとめて変更できます。

UN-14 でまとめて設定をおこなうと、他の UN-14 も合わせて変更されます。

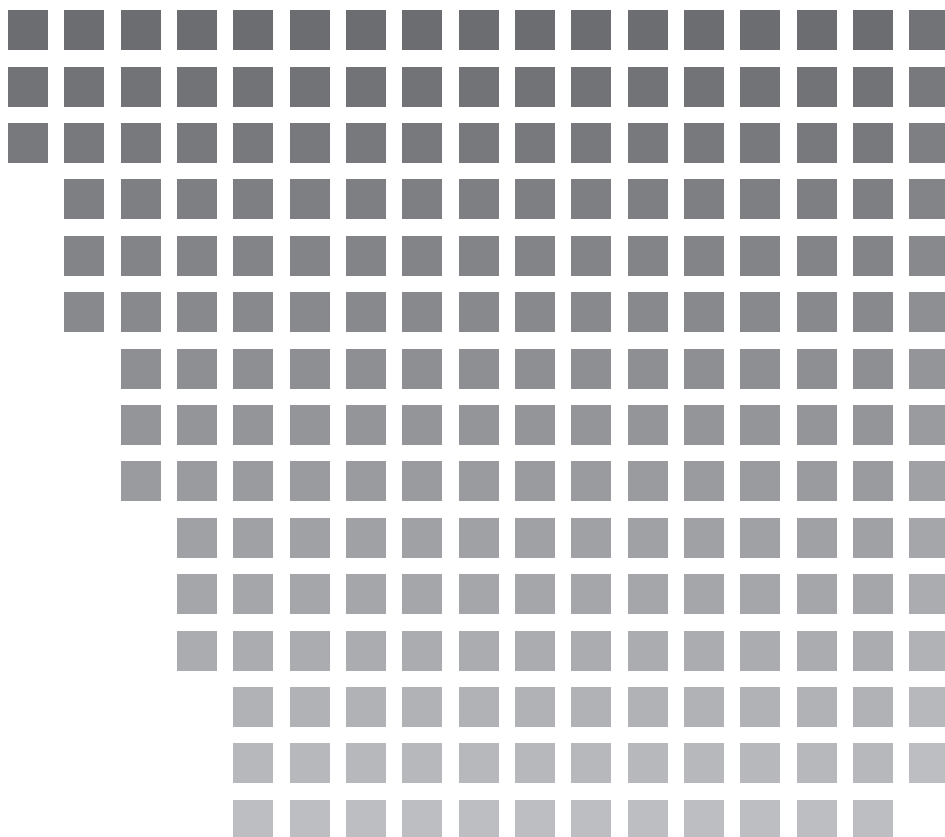
UV-15 でまとめて設定をおこなうと、他の UV-15 も合わせて変更されます。

ノート

まとめて設定が出来ない項目は次の通りです。

- 入力設定部にある「Sensitivity」
- 測定設定部にある「RANGE」

測定設定部にある「HPF」、「LPF」でまとめて設定を操作した項目でユーザフィルタを選択した場合は、ユーザフィルタの設定がある接続機器の種類が同じ識別番号の設定を変更します。ユーザフィルタの設定がない接続機器の種類が同じ識別番号は変更しません。



リオン株式会社

<http://www.rion.co.jp/>

本社／営業部

東京都国分寺市東元町 3 丁目 20 番 41 号
〒185-8533 TEL (042)359-7887 (代表)
FAX (042)359-7458

サービス窓口

リオンサービスセンター株式会社
東京都八王子市兵衛 2 丁目 22 番 2 号
〒192-0918 TEL (042)632-1122
FAX (042)632-1140

東日本営業所 さいたま市南区南浦和 2-40-2 南浦和ガーデンビルリブレ
〒336-0017 TEL (048)813-5361 FAX (048)813-5364

西日本営業所 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 5 号 横山ビル 6F
〒530-0001 TEL (06)6346-3671 FAX (06)6346-3673

東海営業所 名古屋市中区丸の内 2 丁目 3 番 23 号 和波ビル
〒460-0002 TEL (052)232-0470 FAX (052)232-0458

九州リオン(株) 福岡市博多区冷泉町 5 番 18 号
〒812-0039 TEL (092)281-5366 FAX (092)291-2847